

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

児童相談所における虐待による乳幼児頭部外傷事案への対応に関する調査研究

<実施主体名>

PwC コンサルティング合同会社

【目的】

児童相談所が虐待による乳幼児頭部外傷（Abusive Head Trauma: AHT）疑いケースを受理した際の対応の実態を把握し、児童相談所が参考にできる対応のヒントをまとめ、子どもの安全確保に資することを目的として実施した。具体的には、児童相談所を対象として、AHT 疑いケースに際して対応に苦慮した場面や実施した対応等を尋ねるアンケート及びヒアリング調査を実施するとともに、医療関連学会への協力を依頼した。

【概要】

○事業検討委員会

・アンケート及びヒアリングの調査設計、調査結果の分析・考察のために設置。委員会を計5回、ワーキンググループを計3回開催した。

○児童相談所アンケート

・対象：全国の児童相談所（225 か所）
・主な調査内容：AHT 疑いケースの受理の有無、受理した AHT 疑いケースにおいて対応に苦慮した場面の状況、当該場面において実施した対応 等

○児童相談所ヒアリング

・対象：AHT 疑いケース受理実績のある児童相談所（10 か所）
・主な調査内容：受理した AHT 疑いケース対応で困難だった場面、当該場面での対応

○医療関連学会協力依頼

・児童相談所が医師の協力を得られるよう関連学会に依頼した。

【結果】

全国の児童相談所へのアンケート及び AHT 疑いケースの対応実績のある児童相談所へのヒアリング調査結果より、児童相談所が AHT 疑いケースに際して苦慮する場面及びそれに対する対応のヒント（医療機関に提供を依頼すべき情報や、子どもの安全確保を目的として保護者が主体的に子どもの安全プランを検討するよう促す必要性など）を具体的に示した。また、医療関連学会への協力依頼を通じて、専門領域の異なる7つの学会から、児童相談所への医師への紹介について協力可能との回答を得られた。これらを通じて今後、全国の児童相談所が AHT 疑いケースに対応する際の参考資料を提供できた。